



「ふきのとう」ひとつ  
芽を出した」・・・高田  
さんの「龍口み楽」  
で。  
(高田さん提供)

## 「無言館」をみっちりレッスン・・・2月23日(火)・・・

□ 今日吉田さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングにはじまり、本並先生の指揮と青山さんのピアノで無言館をみっちりレッスンしました。団員出席は今日も息切れ(?)で、30名。



### □ レッスン曲と一口メモ

「いのちへの伝言」; P1 **かいがたち**: ハッキリ発音。P4 **まにあう**: ていねいにリズム正しく。P5 **ひかりの**: 食い付きよく(3か所とも16分音符での指摘)。P7 **oh oh**: 語尾を捨ててしまわない。口の形を保ったままで。P8 **えのぐは**: p だが、弱々しくならないよう。P8 中段 **すべてが消えさらぬように**: だる一く歌わない。

「還らぬ若人たち」; P2 **ふるびたいちまいのきねんしゃしん**: 数えない。話すように。P2 **まんなかに**: 「ア行」口を縦に。P2 **いてついたように**: てを口を縦に。P4 **わかれの**: 口を縦に、特に「ア行」。P5 **du du du**: 口を縦に。緊張感をもって。P6 **わかきともよ**: 楽譜に書いてあるとおりの「優しいいたわりで」。P8 **しりたい**: いはのどの奥をひらいて。P6 **せきたてる**: 符点8分音符と16分音符は3:1の長さです。ずるずるにせずハッキリリズムをとる。

「無言館」; P1 **こなゆき舞うやまあいの**: 音色分厚く歌わない。**やまあいの**: 「ア行」口を縦に。P2 **きこえるよきこえるよ**: ハンプレスで。P2 **わかいこえ**: わ(ア行)口を縦に。

□ こうやって指摘されたことをメモすると、ほとんど、「ア行」を「口を縦に」の注意ですね。福井ソアーベ児童合唱団では、「おうちのおシャレ!」と注意し、また、ある声楽家の先生は、「山の手の奥さまがしゃべるように」と指導するそうです。日ごろ関西弁のわれわれ一般庶民は、わざと、口をへの字にして、だみ声でしゃべるのを親しみがあってよしとするところがある。何度も注意されるのは、日ごろの習慣が邪魔しているのかも。